

## 相模鉄道 要望項目一覧 (11件)

I 輸送力増強.....	2
1 新線・線増計画	
(1) いずみ野線の平塚への延伸 (継続)	
(2) いずみ野線のツインシティ方面への延伸 (継続)	
2 輸送計画の改善	
<他路線への乗入れ>	
(1) J R相模線への乗入れ (継続)	
(2) 小田急線への乗入れ (継続)	
<その他>	
(3) 横浜駅～海老名駅間の特急電車の充実 (継続)	
(4) 神奈川東部方面線の事業進捗について (継続)	
II 利便性向上.....	4
1 新駅の設置	
(1) 海老名駅～かしわ台駅間への新駅の設置 (継続)	
2 駅施設等の整備	
(1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の整備等 (継続)	
(2) 海老名駅北側改札口の事業推進について (継続)	
III その他.....	6
(1) 自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進 (継続)	
(2) 湘南台駅構内における多言語での案内放送の実施 (継続)	

# I 輸送力増強

## 1 新線・線増計画

### (1) いずみ野線の平塚への延伸（継続）

いずみ野線延伸については、平成 21 年 3 月に、平塚への工事施行認可申請期限の 10 年延長が認可され、平成 24 年 6 月には、「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」により、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス周辺までの区間について検討結果を公表しました。

その検討結果を受け、2つの新駅周辺のまちづくりに向け取り組んでいるところであり、平成 28 年 3 月には、それぞれの新駅周辺におけるまちづくり基本計画を策定いたしました。

また、平成 28 年 11 月には、第 7 回線引き見直しに係る都市計画の変更が告示され、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近の健康と文化の森地区については、一部区域が市街化区域に即時編入されました。今後、周辺区域の市街化区域編入に向けて、住民との意見交換やまちづくり事業の具体的な検討を進めていきます。

このような状況を踏まえ、基本計画を参考に、同区間を端緒とし、早期事業化に取り組まれるよう要望いたします。

（かながわランドデザイン、平塚市総合計画、平塚市都市マスタープラン、平塚市総合交通計画、藤沢市都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン）

### (2) いずみ野線のツインシティ方面への延伸（継続）

ツインシティは、県央・湘南都市圏の南の玄関口として位置付けられ、広域交通の結節性を生かした広域交流の拠点形成が望まれております。そのためには、周辺都市とのアクセス向上、横浜・藤沢方面への公共交通のネットワークの形成が重要な要素と考えております。

具体的な取組みとして、平成 24 年 6 月には、「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」により、ツインシティまでの延伸をめざしつつ、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス周辺までの区間を第一期区間とした、いずみ野線延伸の検討結果を公表し、平成 24 年 10 月には「いずみ野線延伸連絡協議会」が発足し、関係者間で課題解決に向けた協議を進めております。

また、平成 28 年 4 月の交通政策審議会答申第 198 号において、湘南台から倉見までの延伸は、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトの 1 つとして位置付けられました。

なお、第一期区間における 2つの新駅周辺のまちづくりに向けた取組みとして、平成 28 年 3 月に、それぞれの新駅周辺におけるまちづくり基本計画を策定するとともに、平成 28 年 11 月には、第 7 回線引き見直しに係る都市計画の変更が告示され、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近の健康と文化の森地区のうち、一部

区域が市街化区域に即時編入されました。今後、周辺区域の市街化区域編入に向けて、住民との意見交換やまちづくり事業の具体的な検討を進めていきます。

このような状況を踏まえ、いずみ野線のツインシティへの延伸実現に向けた検討を行うよう要望いたします。

〔 かながわランドデザイン、平塚市総合計画、平塚市都市マスタープラン、平塚市総合交通計画、藤沢市都市マスタープラン、寒川町総合計画さむかわ2020プラン後期基本計画、寒川町都市マスタープラン 〕

## 2 輸送計画の改善

<他路線への乗入れ>

### (1) J R 相模線への乗入れ（継続）

J R 相模線の利用者は年々増加しており、また、都市鉄道等利便増進法に基づき現在事業中の神奈川東部方面線（相鉄・J R 直通線、相鉄・東急直通線）が開通すると、さらに利用者が増加すると見込まれております。

ついては、シームレス化等、乗換え客の利便性向上のため、J R 相模線への乗入れを検討されるよう要望いたします。

〔 茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市総合交通プラン 〕

### (2) 小田急線への乗入れ（継続）

厚木・愛甲地域（厚木市、愛川町及び清川村）の住民が横浜方面に移動する頻度は、東京方面と同じく年間相当数あり、海老名駅での乗換えに不便を感じております。

また、関東有数の観光地である箱根や第4の国際観光地を目指す霊峰大山地域を乗換えなしで結ぶ新たな交通ネットワークの構築は、社会便益の向上及び新たな輸送需要の喚起につながるものです。

現在、J R 線、東急線との相互直通事業に伴う工事も進んでおり、また、相模鉄道本線は、過去において本厚木駅まで乗り入れていた実績もあることから、これを契機に、関係各社と連携して本厚木駅までの乗入れについてご検討されるよう要望いたします。

本厚木駅は、乗り換えなし関東大手私鉄駅乗降人員数がトップクラスであると同時に、厚木市の昼夜間人口比率は115.6%であり、県内19市中1位であります。これは、市内在住及び在勤、在学の多くの利用者があるものであり、横浜方面への往来も相当な数に上ります。

よって、現在海老名駅止まりの相鉄本線の本厚木駅までの延伸により、本厚木駅利用者のみならず、県央・県西方面の住民の利便性が飛躍的に向上します。

また、さがみ縦貫道路等の高規格道路の完成により、県央地域の産業集積がさらに進むことも確実であり、地域経済の活性化の観点から、商工会議所などの経済界からも強い要望がありますので、本格的な検討をお願いいたします。

<その他>

(3) 横浜駅～海老名駅間の特急電車の充実（継続）

海老名市では平成27年10月、海老名駅西口土地区画整理事業による、ららぽーと海老名のオープン等、海老名駅西口地区がまち開きされました。また、海老名駅の東口と西口を結ぶ自由通路が供用開始され、駅周辺の都市基盤整備が一層進み、今後も海老名駅鉄道利用者の大幅な増加が見込まれます。

については、現在、日中時間帯において特急電車を運行していますが、利用者の利便性向上を図るため、他の時間帯における運行についても充実されるよう要望いたします。

(4) 神奈川東部方面線の事業進捗について（継続）

神奈川東部方面線（相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線）については、速達性向上計画の認定を受け事業化しておりますが、本路線は東京都心部や新幹線駅である新横浜駅へのアクセス向上や、沿線のさらなる発展などに資することから、開業に向けて整備主体とともに確実に事業を推進されるとともに、既存の鉄道ネットワークを活用した多方面へのアクセス向上の検討にあたっては、一層利便性の高い路線となるよう、関係鉄道事業者との調整を積極的に行うよう要望いたします。

また、本路線間の速達性向上のため、海老名駅から東京都心部方面への特急電車の運転についても、あわせて検討していただくよう要望いたします。

さらに、羽沢駅（仮称）の駅名称について、将来にわたり市民に親しまれる名称となるよう、地元の意見を聞きながら検討するよう要望いたします。

(かながわランドデザイン、横浜市都市計画マスタープラン、横浜都市交通計画)

## II 利便性向上

### 1 新駅の設置

(1) 海老名駅～かしわ台駅間への新駅の設置（継続）

海老名駅～かしわ台駅間には住宅地が広がっており、また、現在、新たな住宅地の開発も順次進められております。

については、駅間が2.8kmと他駅間に比べて長いことから、利用者の利便性向上のため、新駅を設置されるよう要望いたします。

(海老名市第四次総合計画後期基本計画、海老名市都市マスタープラン)

## 2 駅施設等の整備

### (1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の整備等（継続）

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。

また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。

#### ① 転落防止

ホームからの転落や列車との接触防止対策として有効な、ホームドアや可動式ホーム柵の設置について、支援制度も創設された一部自治体の駅、例えば横浜駅に可動式ホーム柵が整備され、安全性確保が期待されますが、その他の利用客の多い駅にも早期設置を要望いたします。

ホームドア・可動式ホーム柵の整備が困難な場合は、転落時の対応として転落検知マットのさらなる設置。

#### ② 多機能トイレ等

妊産婦・乳幼児連れの保護者が安心して利用出来るような施設（親子トイレ、ベビーキープ付きトイレ、子どもサイズの便器・手洗い器・ベビーベッド、授乳室等）の整備。

オストメイト対応トイレは、温水シャワー水栓付き汚物流しのタイプに改良し、車いすを使用するオストメイトにも利用可能な高さ調整機能の導入。また、重度心身障害者も利用できるよう、車いす対応トイレに大人用ベッドの設置。

#### ③ エレベーター、エスカレーター、AED等

傷病者の収容に関しては、救急担架（奥行き 2.0m、幅 0.6m程度）を水平に搬送することが望ましい傷病も多いため、救急担架を容易に収納できるエレベーターの設置の推進。設置スペースの制約により、設置まで長期間かかる場合は、当面の代替策による対応。

加えて、AEDにつきましては、全 25 駅に設置いただいているところですが、AEDを的確に使用するため、駅員等への救命講習受講の促進を要望いたします。

④構内床仕上げ

駅構内の床について、雨天時においても滑りにくい仕上げ。

⑤車両等

高齢者や障害者、乳幼児連れの保護者等がさらに利用しやすい新車両の開発・導入の推進。

⑥案内表示

視覚障害者が安全かつ円滑に移動できるよう、改札や階段、トイレ、昇降施設等駅構内における音響音声案内装置の設置の推進、視覚障害者用階段表示の整備。また、聴覚障害者の利便性向上を図るための、車内行先電光表示板の設置の推進。

⑦人員対応

高齢者や障害者、乳幼児連れの保護者等のエレベーター等利用時の配慮、高齢者や障害者の行動特性を考慮した実践的な訓練の推進、利用者へ声かけなどの心のバリアフリーの啓発。

横浜市基本構想、横浜市都市計画マスタープラン、横浜都市交通計画、藤沢市都市マスタープラン、第8次大和市総合計画、大和市障がい者福祉計画、大和市都市計画マスタープラン、大和市総合交通施策、大和市子ども・子育て支援事業計画、第四次座間市総合計画、座間市都市マスタープラン、海老名市都市マスタープラン、海老名市障がい者福祉計画

(2) 海老名駅北側改札口の事業推進について（継続）

かねてより要望している海老名駅北側改札口の整備等も含めた総合的な施設整備について、国庫補助制度を活用して事業を推進しているところです。

海老名市では平成27年10月、海老名駅西口土地区画整理事業による、ららぽーと海老名のオープン等、海老名駅西口地区がまち開きされました。また、海老名駅の東口と西口を結ぶ自由通路が供用開始され、今後も駅周辺の都市基盤整備が一層進み、海老名駅鉄道利用者の大幅な増加が見込まれます。海老名駅の東西結節機能の強化など、海老名市地域公共交通協議会での協議事項も反映し、総合的な施設整備に向けて取り組まれるよう要望いたします。

### III その他

(1) 自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進（継続）

近年、通勤・通学者の鉄道駅までの交通手段として、自転車や原動機付自転車の利用が急増しており、駅前の歩道、車道、さらに周辺の道路、空地にこれらの自転車等が放置され、歩行者の安全対策、車両交通対策、また景観上から支障が大きくなっております。

このような問題の解決及び利用者の利便性向上のため、各自治体では自転車等駐車場の確保及び整備に努力しているところですが、引き続き貴社におかれても、駅周辺状況に応じて自転車等駐車場の整備や用地の提供等について、特段のご協

力、ご配慮をお願いいたします。

神奈川東部方面線との分岐駅となる西谷駅や、新設される（仮称）羽沢駅についても取り組まれるよう要望いたします。

なお、平成 18 年 6 月から改正道路交通法が施行され、自治体としても、自動二輪車の駐車対策を早急に進める必要があるため、自転車や原動機付自転車と同様に特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。

（横浜都市交通計画、大和市総合交通施策）

## (2) 湘南台駅構内における多言語での案内放送の実施（継続）

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることに伴い、今後さらなる外国人観光客の増加が見込まれます。

湘南台駅については江の島への乗換駅であり、多くの外国人観光客の利用が予想されるため、導入されているリアルタイム多言語通訳サービスに加え、駅構内における多言語での案内放送を実施するよう要望いたします。